



□■□ 事故防止メルマガ「Think」/Vol. 243

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <http://www.think-sp.com/>

// INDEX //

- 1・2021年10月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～運転者のストレスに配慮していますか（その2）
- 3・交通事故の裁判事例～バイクを転倒させた車にも共同不法行為を認定
- 4・今日の朝礼話題～10月から薄暮時の歩行者事故に注意しよう
- 5・【好評発売中】手帳「2022トラック運行管理者手帳」
- 6・【好評発売中】手帳「2022バス運行管理者手帳」
- 7・【好評発売中】単行本「『心のまなび』から考える交通安全教育」
- 8・【好評発売中】小冊子「あなたの心を軽くするストレス対処法」



★10月後半の安全管理ごよみ

◆1日（金）～31日（日）

——体力づくり強調月間（スポーツ庁）

——自動車点検整備推進運動強化月間（国土交通省）

◆17日（日）～23日（土）

——薬と健康の週間（厚生労働省）

◆22日（金）

——交通事故総合分析センター第24回交通事故・調査分析研究発表会

WEB開催（ITARDAホームページ上で1か月ほど公開）

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<https://www.think-sp.com/2021/09/10/oct-2021-kongetsu-untankenri/>

■危機管理意識を高めよう

『運転者のストレスに配慮していますか（その2）』

前回に引き続き、運転者のストレスについて考えます。今回は道路で運転中のストレスでなく仕事のストレスについてです。

10月の第1週は「全国労働衛生週間」ですが、ストレスチェックなどメンタルヘルス面での調査を実施した会社も多いと思います。事業所のドライバーのメンタル面はどうでしたか？

厚生労働省の発表によると、仕事の強いストレスなどが原因でうつ病などになったとして令和2年度に労災と認められた人が608人いることがわかりました。

前年度より99人増えて1983年度に調査を始めてから最も多くなっています。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2021/10/01/kikikanri-stress-coping2/>

■交通事故の裁判事例

今回は、ガソリンスタンドから進入してきた車を避けようとして転倒したバイクの運転者が、立ち上がって道路横断中に他車に轢かれて死亡した事故で、両車の運転者の共同不法行為が成立するかが争われた事例を紹介します。

『バイクを転倒させた車にも責任があるとして衝突車との共同不法行為を認定』

【事故の状況】

平成27年12月5日午後9時47分ごろ、Aは兵庫県川西市の道路をバイクで走行していたところ、道路左側にあるガソリンスタンドから乗用車Bが出てきたために、急ブレーキを踏んで避けようとしたところ転倒しました。

Aはすぐに立ち上がって、反対車線に停止したB車に向かって歩いていたら、走行してきたC車にはねられ死亡しました。

Aの遺族は、Bが道路に進出したことでAは急制動を余儀なくされて転倒し、精神的に激しく動揺、混乱したことにより、歩道に避難するなどの措置をとることができずCと衝突したものであるから、Bの過失とAの死亡との間には相当因果関係があると主張しました。

これに対してBは、Aは転倒したがすぐに立ち上がって痛みを感じる素振りをすることなく歩いており、死亡した原因は専らC車との衝突にあったとして、責任を否定しました。

【裁判所の判断】

「Aは、Bが道路に進出したことにより急制動の措置を余儀なくされて転倒し、直ちに起き上がって道路を歩行し始めた際に、C車に衝突されて死亡しているところ、Bの運転行為はAが道路を歩行するそもそもの原因となったものであり、Aの死亡の原因がC車との衝突のみであったということはできない」

「また、Aが急制動の措置を余儀なくされて転倒した後、歩道に退避することなく道路上を歩行したことは、安全な措置であったとはいえないものの、転倒によって適切な判断が困難となったことに伴う行動としては異常なものであったとはいえず、Bの運転行為によって生じた結果として評価することが相当である」

「以上に照らすと、Bの過失とAの死亡との間には相当因果関係が認められる」

とし、BとCは共同の不法行為によってAを死亡させたとして、連帯して損害を賠償する責任を負うと認定しました。

(大阪地裁 平成31年2月20日判決)

■今日の朝礼話題

『10月から薄暮時の歩行者事故に注意しよう』

10月になると日が暮れるのが早くなり、アツという間に暗くなります。日没時間の前後1時間の時間帯は、いわゆる「薄暮時」と言われていますが、この時間帯は非常にものが見えにくく事故が多発しますので注意が必要です。

...

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2021/10/01/jyuugatukara/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける

「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。

（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<http://www.think-sp.com/about/>

■ 【好評発売中】 手帳「2022トラック運行管理者手帳」（カバー・濃紺）
手帳「2022バス運行管理者手帳」（同・ワインレッド）

※仕様 A6判／222ページ／表紙ビニールレザー／本色2色刷

※価格 各1,320円（税込・送料実費）

今年も「2022トラック運行管理者手帳」「2022バス運行管理者手帳」の販売を開始しております。

両手帳とも、運行管理者として知っておきたい最新の法改正などを「法令編」「知識編」「データ編」としてまとめており、煩雑になりがちな運行管理関係の法令知識をお手元で確認していただくのにとっても便利です。

スケジュール欄も充実しており、また、2022年版から月間カレンダーにおける祝日や交通に関するこよみの文字を大きくしましたので、より読みやすく、日々の運行管理に役立つ手帳となっております。

【詳しくはこちら↓】

<https://2014unkoukanridiary.jimdo.com/>

■【好評発売中】単行本『心のまなび』から考える交通安全教育』

※仕様 A5判／240ページ／表紙カラー刷、本文一色刷

※価格 2,200円（税込・送料実費）

※著者 金光義弘（川崎医療福祉大学名誉教授・NPO法人安全と安心 心のまなびば理事長）

本書は、心理学者である著者が、長年の研究と実践で培った知識と経験をもとに、現在の交通問題についての様々な提言をまとめた一冊です。

「健康なくして 安全なし」と言われるように、ストレスや健康管理ミスが交通事故の原因になることも少なくありません。本書では、このような問題に対して健康心理学の視点から取り上げており、どうして健康を害すのか、ストレスが溜まるのかを理解することができます。

提言はリスクマネジメントの基本からこれからの交通社会を担う子どもの安全教育まで、幅広いジャンルに渡ります。また、事業所で実施できる対処法も紹介していますので、職場での交通安全教育にも最適の一冊です。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3CPIvKr>

■【好評発売中】小冊子「あなたの心を軽くするストレス対処法」

●小冊子「あなたの心を軽くするストレス対処法」

※仕様 B5判／16ページ／カラー刷

※価格 770円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

※監修 金光義弘（川崎医療福祉大学名誉教授・NPO法人安全と安心 心のまなびば理事長）

誰しも日常生活では大小の様々なストレスを抱えています。ストレスとの付き合い方がうまくいかないと、イライラしたり、身体にも不調が現れるなど、日常的に様々な悪影響が出てきます。

その一方で、ストレスにうまく対処し、付き合っていくことで、心身への負担を軽くすることも可能です。

本冊子では、ストレス構造のしくみを知るとともに、仕事やプライベートにおける6つのストレス要素について、ストレスを抱え続けることによるリスクと対処法を学ぶことができます。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3iQPOK2>

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<https://goo.gl/duF5ws>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

(令和3年10月1日送信)

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。



～人と車の安全な移動をデザインする～

シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15 ビアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <http://www.think-sp.com/>

